

# 特別委員会の調査報告

特定のテーマ、課題について調査するための四つの特別委員会から、調査の経過および集約された意見について、本会議で報告が行われ、調査を終了しました。要旨は次の通りです。(特別委員会の動きは8面参照)

## 交通対策特別委員会

### 高速鉄道3号線(地下鉄七隈線と沿線のまちづくり)

開業区間は引き続き利用促進に努めること、延伸区間は道路陥没事故や社会情勢の変化等を踏まえた見直しで、開業は平成34年度、事業費は約587億円になるが採算性は維持しているとの報告を受けた。

沿線のまちづくりについて、開業区間は交通結節機能強化等、延伸区間は安全・快適でにぎわいや魅力ある通りの形成に向けた取り組み等について報告を受けた。

安全を最優先とした延伸事業の推進、市民への情報発信等、総合的な調査・検討の必要がある。

### 福岡都市圏における公共交通機関

高速鉄道2号線と西鉄貝塚線との直通運転化の運行スキームの再検討案の調査を行った。事業採算性、九州大学箱崎キャンパス跡地など沿線の動向にも留意した調査・検討の必要がある。

バス交通の在り方について、公共交通が空白となる地域への代替交通への補助等を行っているとの報

## 都市問題等調査特別委員会

### 福岡空港

平行誘導路二重化については駐機場改良工事等、滑走路増設については誘導路の整備等、ヘリ機能移設については移設先の用地造成等が行われていること、民間委託については、空港所在の自治体として意見すべきものは意見し、協議していくこと等の報告を受けた。今後も調査・検討を進めていく必要がある。

### 外郭団体の在り方

「外郭団体のあり方に関する指針」を策定し、より効率的・効果的な行政運営を推進していくとの報告を受けた。今後も調査・検討を進めていく必要がある。

### 道路交通の円滑化

都心部の交通混雑対策について、公共交通による都心部の交通アクセスの向上等の報告を受けた。マイカーから公共交通への転換や自動車交通の削減、抑制に向けた調査・検討の必要がある。

都心部の総合的な自転車対策については、モラル・マナーの啓発、放置自転車の撤去等に引き続き取り組むとの報告を受けた。

観光交通対策について、クルーズ船観光客の貸し切りバス駐車場の整備と貸し切りバスショットガン方式を導入したこと等の報告を受けた。今後も既存駐車場の利用促進等の調査・検討の必要がある。

### ウォーターフロント開発における交通対策

今期では、具体的な議論を行う機会がなかったため、円滑な道路交通の確保について調査・検討の必要がある。

### 防災

福岡市地域防災計画について、災害対応力をさらに向上させるため見直しを行っているとの報告を受けた。今後も防災対策の整備・充実について、調査・検討を進めていく必要がある。

### 再生可能エネルギー

本市での導入は年々増加しており、太陽光発電設備などの住宅用エネルギーシステム導入補助等に取り組んでいるとの報告を受けた。今後も普及促進に向けて、調査・検討を進めていく必要がある。

## 少年・高齢化対策特別委員会

### 広域的行政

ふくおか都市圏まちづくりプランに基づき、消防通信指令業務の共同運用等に連携して取り組んでいるとの報告を受けた。今後も住民の住みやすさの向上と都市圏の活性化等のため、調査・検討を進めていく必要がある。

### 住民自治・地域コミュニティ

自治協議会をパートナーとして、企業、商店街などさまざまな主体を巻き込みながら、地域の未来を共に創る「共創」の取り組みを推進しているとの報告を受けた。今後もコミュニティに関する取り組み状況等について、調査・検討を進めていく必要がある。

### 地方分権の推進

地方分権改革のさらなる推進や

新たな大都市制度の創設について、必要に応じて調査を行うしていく。

### 再生可能エネルギー

本市での導入は年々増加しており、太陽光発電設備などの住宅用エネルギーシステム導入補助等に取り組んでいるとの報告を受けた。今後も普及促進に向けて、調査・検討を進めていく必要がある。

### 少年・高齢化対策特別委員会

福岡市保健福祉総合計画では、健康づくりなどの自立の促進と支援等の三つの方向性を掲げて施策に取り組むこと、配る福祉から支える福祉への政策転換により、持続可能な制度や仕組みへと施策を再構築していくとの考えが示された。高齢者保健福祉施策では、いきいきとしたシニアライフの実現等の五つの基本目標を定め推進しており、第7期介護保険事業計画において、地域包括ケアの構築を進めていくとの報告を受けた。

### 高齢化対策

福岡市保健福祉総合計画では、健康づくりなどの自立の促進と支援等の三つの方向性を掲げて施策に取り組むこと、配る福祉から支える福祉への政策転換により、持続可能な制度や仕組みへと施策を再構築していくとの考えが示された。高齢者保健福祉施策では、いきいきとしたシニアライフの実現等の五つの基本目標を定め推進しており、第7期介護保険事業計画において、地域包括ケアの構築を進めていくとの報告を受けた。

### 再生可能エネルギー

本市での導入は年々増加しており、太陽光発電設備などの住宅用エネルギーシステム導入補助等にに取り組んでいるとの報告を受けた。今後も普及促進に向けて、調査・検討を進めていく必要がある。

### 少年・高齢化対策特別委員会

福岡市保健福祉総合計画では、健康づくりなどの自立の促進と支援等の三つの方向性を掲げて施策に取り組むこと、配る福祉から支える福祉への政策転換により、持続可能な制度や仕組みへと施策を再構築していくとの考えが示された。高齢者保健福祉施策では、いきいきとしたシニアライフの実現等の五つの基本目標を定め推進しており、第7期介護保険事業計画において、地域包括ケアの構築を進めていくとの報告を受けた。

き全庁を挙げて一体的に施策を推進するとともに、産学民の参画を得ながら取り組みを進めていくとの報告を受けた。

### 少年・高齢化対策特別委員会

高齢者保健福祉施策の総合的な推進と介護保険制度の円滑な運営は重要な課題であり、高齢者や介護者の実態とニーズを十分に踏まえるとともに、健康づくりや介護予防施策の推進等について、今後とも調査・検討を進めていく必要がある。

### 少子化対策

第4次子ども総合計画では、三つの目標ごとに施策を体系化し取り組んでいるとの報告を受けた。今後も、本計画に基づく子ども施策と、いじめや不登校等の未然防止対策と教職員の対応力強化など目標ごとの課題について、調査・検討を進めていく必要がある。

福岡市働く女性の活躍推進計画は、女性の職業生活における活躍の推進に関する施策を計画的、効果的に進めるために策定し、福岡市男女共同参画基本計画(第3次)の基本目標3、4の部分として位置づけているとの説明を受けた。今後も、本計画に基づく女性活躍推進の施策と、企業等におけるワーク・ライフ・バランスの促進等の課題について、調査・検討を進めていく必要がある。

## 議会改革調査特別委員会

### 議会改革

常任委員会の名称およびその所管を変更することが適当とい

とで意見がまとまった。(8面に関連記事)

請願の取り扱い協議時および採決時ならびに議案の採決時に傍聴者に退室を求める取り扱いには廃止すべきということで意見がまとまった。

議場および第3特別委員会室に残時間表示計を設置することが適当ということで意見がまとまった。

小・中学生の段階から市議会の役割や市議会議員の仕事に関心を持つてもらうために、社会科特別授業を実施することが適当ということで意見がまとまった。また、市議会広報DVDを作製することが適当ということで意見がまとまった。

請願について、審査時に紹介議員に質疑を行うことが適当ということで意見がまとまり、また、現行通り結論を出さずに継続審査とすることを認める取り扱いとすることで意見がまとまった。

### 議会基本条例

議会基本条例の概要について他都市の状況等を含めて調査を行うとともに、地方議会に係る基本的事項について調査を行い、また、議会基本条例の有効性等を調査するため、議会基本条例に関する有識者を参考人として招致し意見を聴取した。

また、議会基本条例とはどのようなものか等についての認識を確認した。

議会基本条例に関する審議の方針については、結論を得るには至らなかった。